

「春のみんなくフォーラム2011」
「ことばの世界へ」
会期 開催中～3月31日(木)

◆関連イベント

◆公開講座
「ことばで世界一周」
世界各地のちよつとめずらしいことばの入門講座。1月18日現在、以下の言語が受付中です。(最新の受付状況についてはホームページをご確認ください)
「イスラマ語」2月12日(土)
「日本語」2月20日(日)
「ポントック語」3月5日(土)
「シンハラ語」3月26日(土)
「フィジー語」3月27日(日)
時間 13時～14時30分
定員 各講座30名(高校生以上の方対象。定員に達し次第、しめきりませ)
※参加無料、要申込(詳細はホームページ)
◆展示場クイズ
「みんなのことは編」
期間 2月1日(火)～2月28日(月)
場所 言語展示場
※要観覧料、申込不要
お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 06・6878・8210

◆公開講演会
「ことばの類型と多様性」
実施日 2月19日(土)
時間 13時～17時
会場 有楽町朝日ホール
定員 600名(先着申込順)
※参加無料、要申込
申込方法
「第14回公開講演会・シンポジウム参加希望」と明記の上、氏名、郵便番号、住所、電話番号、今後の講演会などのご案内送付希望の有無を記載し、左記までFAXにてご連絡ください。
FAX 06・6878・8479
お問い合わせ
研究協力課共同利用係
電話 06・6878・8331

◆特別講演

「こみたらう ことばをかたる」
ことばで絵の世界を表現してこられた絵本作家五味太郎さんにそのゆたかな言語観をこぼして描いていただきます。
実施日 3月6日(日)
時間 15時～16時30分(開場14時30分)
場所 講堂
定員 450名
※参加無料、申込不要(先着順)
お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 06・6878・8210

支援の現場を比較検討し、グローバルな支援について考えます。
実施日 2月27日(日)
時間 10時～12時(第4セミナー室)
13時30分～17時(講堂)
※参加無料、申込不要
お問い合わせは左記メールアドレスにお送りください。
stateless2011@dc.minipaku.ac.jp

国際シンポジウム

「日常」を構築する——アフリカにおける平和構築実践に学ぶ」
紛争後社会に生きる人びとが、かつての敵、難民・避難民や援助実務者といった多様な他者と新しい「日常」を創出する実践について考えます。
日時 ①3月5日(土) 13時～17時(講堂)
②3月6日(日) 10時～17時5分
(第4セミナー室)
※参加無料、申込不要
お問い合わせは左記メールアドレスにお送りください。
suzuki.c@dc.minipaku.ac.jp

みんなく公開講演会

「自然と向きあふ人びとのいま——太平洋とアフリカに見る」
人はこれまで自然とどう向き合ってきたのか。人と自然の関係は、これからどうなっていくのか。この講演会では、人が自然とのやりとりを用いる呪術や伝統医療に着目し、太平洋とアフリカの人々の日常実践を紹介し、現代社会における意味を考えたい。
実施日 3月18日(金)
時間 18時30分～20時30分(開場17時30分)
会場 オールホール(大阪 梅田毎日新聞社ビル地下1階)
定員 400名(先着申込順)
※参加無料、要申込、手話通訳あり
申込方法
「公開講演会参加」と明記の上、氏名、郵便番号、住所、電話番号、今後の講演会などの案内送付希望の有無を書いて、ハガキ、FAX、メールにて左記「研究協力係」までお申し込みください。
FAX 06・6878・8479

Eメール koenka@dc.minipaku.ac.jp
お問い合わせ
研究協力課研究協力係
電話 06・6878・8209

公開ダンスワークショップ

「インド刺繍×思いと出会う 願いでつながる」
インド西部の刺繍との出会いをもとに、ダンス表現を創り発表するワークショップです。
日時 3月19日(土) 13時～17時
3月20日(日) 10時～15時
場所 第5セミナー室、第7セミナー室など
※要申込(見学は自由です。詳細はホームページ)
定員 12名(小学4年生以上の方対象)
00円が必要ですよ
お問い合わせ
情報企画課展示グループ
電話 06・6878・8532

●アメリカ展示・オセアニア展示の閉鎖

新しく生まれ変わるアメリカ・オセアニア展示場に之期待ください。
閉鎖期間 3月16日まで(予定)
※お問い合わせの受付時間は平日9時から17時です。

みんなくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)
第393回 2月19日(土)
「新言語展示関連」
日本の文字・世界の文字
講師 八杉佳穂(民族文化研究部教授)



日本の文字は、漢字と仮名を交えて使うところからか、特殊で、むしろかたい文字といわれています。本当にそうでしょうか。世界の文字を比べながら、文字の本質とは何か、日本の文字の特徴は何かを考えてみましょう。



第394回 3月19日(土)
「特別展」ウメサオタタ才展「関連」
みんなく誕生
講師 佐々木高明(民博名誉教授)
聞き手 小長谷有紀(民族社会研究部教授)

友の会 国立民族学博物館友の会 電話06-6877-8893(平日9時～17時) FAX06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)
第392回 2月5日(土) 14時～15時30分
日本におけるチベット研究のはじまり
青木文教のたどった道
講師 長野泰彦(民族文化研究部教授)
第393回 3月5日(土) 14時～15時30分
ジャワの芸能にみるマハーバーラタ
講師 福岡正太(文化資源研究センター准教授)
古代インドの叙事詩「マハーバーラタ」は、王位をめぐる争つ一族の物語です。インドネシア・ジャワ島にも伝わり、多くの芸能の題材となりました。ジャワ芸能は、登場人物の愛憎や喜怒哀楽をどのように描いているのでしょうか。ヒデオなどを用いてご紹介いたします。

東京講演会

第96回 3月26日(土) 14時～15時30分
「特別展」ウメサオタタ才展「関連」
梅棹忠夫 語るの背景
講師 小山修三(吹田市立博物館館長、民博名誉教授)
会場 埼玉大学東京ステーションホール
定員 80名(要申込)
第97回 4月30日(土) 14時～15時
「特別展」ウメサオタタ才展「関連」
梅棹忠夫の人となり
講師 石毛直道(民博名誉教授)
会場 東京都中小企業会館講堂(銀座)
定員 100名(要申込)

第78回民族学研修の旅

遥なるビザンツ文明の現在
民族と宗教のモザイクの歴史をひもとく
5月12日(木)～25日(水) 14日間
ブルガリア、マケドニア、ギリシャ、トルコなど多文化が共存してきた歴史をたどりま。

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

一年で一番寒い季節になりました。

雪の降る日はあたたかい家の中で、ほっこりティータイムを楽しんではいかがでしょう。ミュージアム・ショップでは、スリランカのセイロン、インドのダーズリン、タンザニアのアフリカンフライドなど、おいしい紅茶をとりそろえています。あたたかいミルクティーだけでなく、スパイスの効いたチャイミックスでもお楽しみいただけます。



スリランカのセイロン (225g)	1,470円
インドのダーズリン (40g)	950円～
タンザニアのアフリカンブレンド (100g)	525円～
スパイスチャイミックス (10g)	315円